



# 九条の樹

東久留米「九条の会」ニュース 第37号  
2012年1月発行・東久留米「九条の会」  
代表者 古田足日・連絡先 鈴木Tel 042-473-9489

## 日本国憲法9条を守り、活カす 東久留米「九条の会」

子どもといっしょに楽しみ  
考える創作で飛躍したい

古田足日さんインタビュー



東久留米九条の会代表で児童文学者の古田さんをお訪ねし、話を聞きしました。古田さんは沖繩での講演の冊子と、評論の2冊を最近出版してホッとしたことと、お元気そうでした。

3・11の時は2階で仕事中で大分ゆれだして、椅子から滑り落ちて後ろの本棚にもたれていたら上から本がバラバラ落ちてきたんです。軽い本だったので額に少し傷が出来た程度でした。

(※奥さんによれば本に埋もれていたそうです。)

最近新しい評論集を出しました。今まで雑誌新聞などに書いたものから選びだし、まとめたのです。ぼくは最初の評論集『現代児童文学論』で日本児童文学者協会新人賞をもらいました。それから50年余りたった今、今までを振り返ろうとしたんです。その作品選びは若い人がしてくれ、本の題名は『現代児童文学を問い続けて』としました。その中に『新しい戦争児童文学を求めろ』という書下ろしを一編入れることにしました。それが難航しました。日本のアジアに対する侵略、加害の事実や、日本の植民地支配を振り返ってきちんと書くのではないかと主張した論なんです。植民地支配への抵抗として朝鮮には三一独立運動があった。台湾では霧社事件というのがあって

十一匹の腹へこ野良猫が湖で大きな魚を捕まえて食べてしまふ愉快な話として、井上さんの脚本でも実に愉快な話がすすんでいきます。だが井上作品の最後は衝撃的、湖が汚染されていて大きな魚も汚染されていた。その魚を食べた猫たちも苦しみ始めるんです。

日本はその弾圧に毒ガスを使い、飛行機を使い、日中戦争の予告編のようなことをやっている。そのほか満州などを素材にしてはどうかと書いてたんです。

3・11を池澤夏樹が今までの感覚やとらえ方ではつかめなと言っています。ぼくも衝撃が大きすぎて新しい言葉を見つけることができませぬ。ぼくと田畑精一の絵本『ダンブ園長やつつけた』は石巻の保育園を取材した本です。ここでは今回子どもをうまく避難させたそうです。この本では子どもたちが園長と一緒に外遊びをして帰ってくるとき、お母さんが働いてるかまぼこ工場の前を通る。子ども達と園長は草と汗の匂いがした。お母さんはかまぼこや魚の匂いがした、というのが結びになります。そのときはこのとらえ方でいいんだと思っただけですが、3・11以後はそれだけでいいのかという疑問が出てきたんです。「絆」というだけでは足りない。そ

3・11の原発事故では井上ひさしの脚本「十一匹のネコ」を思い出しました。原作は馬場のぼるの絵本で、

の先にあるものは何か。それが見つかりません。だけど物書きはそれを見つけないければならない。

ぼくは八十四歳、この後、生きていく間に物語を子どもと一緒に楽しむというか、創作をやりたい。井上ひさしはそのモットーとして「難しいことをやさしく、深いことをおもしろく書く」と言っています。井上さんは児童文学者ではありませんが、児童文学ってのはそういうものです。子どもと一緒に考えていく、そんな物語を書きたいです。今までより一歩飛躍したいですね。

.....



## 《学習会報告》'11・11・5 原発を考える

(学習会での真木先生のお話から)

福島大学名誉教授・

福島県九条の会事務局長

真木實彦さん



東久留米九条の会からカンパをいただきました。放射能の食べ物の計測器を、ある福祉施設でがんばって買うことになり、カンパもそれに加えさせていただきました。お礼申し上げます。

私は東京で大学院を出て、就職で福島へ行き、それから50年たちました。専門は世界経済論ですが最近原発問題に狂奔せざるを得なくなりました。そこで見聞したことをいくつかご報告させていただきます。

### 福島は見捨てられた？

福島は浜通り、中通り、と会津に分かれていて西のほうなら三つの県に分かれていたと思います。相馬はひとつの藩、中通は細かく分かれていて会津は大藩です。原発は浜通りの太平洋岸ですがある意味の過疎地です。原発に頼らざるを得ないという選択をして半世紀、原発交付金をもらっています。

私のいるところは中通りで、最初は情報が入らない。地震津波、原発事故などがテレビでしか分かりません。九条の会の人達がどうなったか、まず気になってあちこち電話しました。原発に近いところの人達は重いというか孤立感を感じていたようです。それが3、4ヶ月たつと、福島のほうもそういう状況に巻き込まれているんですね。山形とか秋田とか周辺に行って話をしてもちよつと受け止めが違ふと感じるんです。孤立感というのは「見放された」という感じがあるんです。南相馬とい

うところは原発から3、40キロのところ。屋内で避難せよと指定されたんですが、家の中でじつと耐えるのですが、一週間もして外へ買い物に行っても物がありません。南相馬あたりは配送会社を持ってきてくれたのむんですが、「危ないから行かない。郡山まで取りに来てくれ」といわれるんですね。逃げなかつた人達はがっくり来ると、数ヶ月すると、どんどん変わるんですがいわきなどは、避難している人、いわきから避難していた人が帰ってくるのでアパート家賃などが値上がりします。救援の人や原発労働者もいわきを經由していく。避難している人が東電から仮払金をもらって酒を飲み町に出るのを見て、「なんだあれは。町が荒れてる」という人も出てきます。

風のいたずらで原発から北西に流れて30キロを超えたところに飯館村があるんですが、典型的な日本の農村です。その先に

福島市があります。計測しますと飯館村はかなり高いんです。福島も高いんです。最初の爆発時に周辺の人達を感じた重苦しさや孤立感を今、福島市の人も感じているという状況です。

### 福島での新しい動き

私どももこの半年、「放射能とは何だ」とか「人体への影響」について勉強会をやるのとたくさん人が集まるんです。でもそれだけでは「うん、じゃあこれからこうしよう」とはならないんですね。今は内部被爆の問題に焦点が当てられてきました。特に子どもを持つお母さん達の悩みの種になっています。簡単に疎開もできません。会津を除いたとしても約100万人がほかの県で面倒見られるでしょうか。ちゃんと仕事があつて家族を養つて共同の生活をする事まで保障できないです。正常な人間の生活がいかに大切かしみじみ感じました。夫は仕事で別

の場所へ行くなど家族がバラバラになつてしまふんですね。これがなんとも重たい気持ちの現状なんです。

### 全国の人たちと連携して

福島県九条の会で「福島は訴える」という本を出しました。30人の方に手記を書いていただきました。いま福島の人達がどんな問題にぶつかつて、何をしようとしているのか、その一部が分かつてもらえるかと思ひます。沖縄の基地問題を全国の人が自分の問題として前向きに捉えられるかが課題ですが、福島もそれと同じ問題だと思ひます。

なぜ日本は広島、長崎の経験があるのに54基もの原発を受け入れ、稼働させてきたのか。福島でも導入の頃ずいぶん議論があつたんですが結局「絶対大丈夫だ」という安全神話に毒されたのだと思ひます。

今も「原発をやめない」という勢力は根強いですね。朝日に大江健三郎氏が「原発をやめる

ことは核の抑止力をなくすことになる」と憂い顔で言う政治家がある」と、これは石破さんのことですね。原発から生まれるプルトニウムはすぐ原爆になるからその蓄積は抑止力だということですね。平和利用だということけれども軍事的問題と裏腹なんです。

原発の受け入れはそれを受け入れる地方の自治体があるからです。福島では双葉町と大熊町が積極的でした。1991年に双葉町はもう一基原発をよこせといつたんです。当時でも新たな原発を作るのは困難でしたから敷地の中に何基も作るんです。過疎地に原発が密集しています。

福島では個々人の生活が壊され地域共同体が壊れ、という上には、原発に対する県の今後の方向が課題です。全国的な連携のたたかいだと思ひます。

ごく最近問題になつていのは、県民の健康問題で、内部被爆の数十年にわたる調査が必要

です。もうひとつは汚染の除去です。学校の校庭の表土を剥ぎ取る作業がすすんでいます。その処理ができないですね。次に通学路、畑、その先は森です。膨大な汚染物をどうするのか、山を削つても治水問題が出ます。

これらの生活や地域の立て直しを進めながら、東電や国の責任を追究していく課題があります。それを全国の人と連携して進めていくという方向がようやく見えてきたところなんです。



## ◆西部九条の会

### 「戦跡を歩く」第2回

東久留米周辺の戦跡めぐり  
 昨年11月19日(土) 参加者16  
 名で小雨の降る中、車に分乗し  
 てまわりました。

新座市の「大和田通信基地」  
 (現在アメリカ軍基地)、浄牧院  
 の爆弾型モニユメント、そして  
 現在たての緑道となっている中  
 島航空金属引込み線跡をたど  
 り、西東京市にある「中島飛行  
 機発動機試運転棟」現存する戦  
 跡(今はこんにやく製品の製造  
 販売する会社として使われてい  
 る)まで、およそ2時間半ほど  
 の行程でした。



西部地域センター前で  
 出発前の説明

## お知らせ

### 講演会

小児科医・山田真さんと考えよう!

### こどもの健康と放射能

日時:2012年2月26日(日)

午後2時~4時

場所:市民プラザホール(100名)

講師:山田真(小児科医)

資料代:200円

保育:10名(要予約・500円)

お問い合わせ・申し込みは

電話:042-422-9577(森田)

メール:ikujimap@yahoo.co.jp

福島で「こども健康相談会」  
 を開催している山田真さんに、  
 現地の様子を聞き、わたしたち  
 は、どのように日々生活したら  
 いいのか、どうやって子どもた  
 ちを被ばくから守り、健康を守  
 るのか、いっしょに考えましょ  
 う。

主催:こども♥ウエーブ

共催:東久留米こども劇場

東久留米の育児応援マップを作る会  
 放射能から子どもを守る会@東久留米

## 2012年、憲法九条を激動する世界に輝かせよう!

・・・東久留米市内の九条の会・・・ (「九条の樹」ご希望の方は下記九条の会までご連絡ください)

- 東久留米「九条の会」 473-9489 (鈴木)
- 東部九条の会 478-8225 (糸魚川)
- 南部九条の会 475-3290 (高橋)
- 西部九条の会 475-9359 (大野)
- 前沢・南町九条の会 479-7827 (矢澤)
- 本町・中央町九条の会 476-7845 (山室)
- 小山・幸町九条の会 471-5469 (市村)
- 九条の会「たんぼぼ」 472-2127 (沼尾)
- 保育九条の会 473-6090 (脇田)
- キリスト者九条の会 473-4496 (岸)
- 東久留米社交ダンス九条の会 090-1885-8856 (西垣内)

《平和を考える本》

『福島は訴える』

福島県九条の会・編

(かもがわ出版)



福島県九条の会の事務局編による本書は、ジャーナリストが取材して書いた本ではなく、福島の人々が直接語っている本です。

登場するのは、学校の先生と生徒、保育士さんとお母さん、漁民、酪農家や米作、野菜、果実などの農家の方々、スーパー経営や自動車の修理工、除染に取り組む議員さん、等々。住む場所もいろいろです。住めなくなった警戒区域の浪江町や小高地区の方、緊急時避難準備区域の南相馬の方、計画的避難区域の飯館村の方、そして福島市その他の方。これらの多彩な方たちの生の声がぎっしりつまった本です。